

動物ウェルフェアに関する講義・実演

日時：令和元年11月11日 13:20~15:20

場所：福島県立相馬農業高校 会議室および厩舎周辺

講師：調教師 おおたけまさひろ 大竹正博氏（日本調教師会関東支部ウェルフェア専門委員会）

講師：騎手 たなべひろのぶ 田辺裕信氏（日本中央競馬会 JRA 騎手）



相農生が学んだこと

- 努力の大切さを再認識した。どんな仕事でも体調管理は重要である。また、始めることの遅い早いはあるけれど、結果は努力次第であること。（2年女子）
- 今日思ったことは、どんな人にもどこからでも、どんなところからでもなれることを知りました。夢はあきらめなければ叶うと信じて頑張ります。南相馬にもっと馬が増えたらいいなと思っています。（2年女子）
- 馬と人の関係や、調教師と騎手の大変さがよく分かりました。馬に乗れる機会があったら乗りたいです。ミスをしたら、謝るときには相手の時間を見たりしながら、早めに謝ることが大切である。（1年男子）
- 祖父がよく競馬をみているので、これからちょっと見てみたい。牛の世話を実習でしているので、もっと可愛がろうと思った。（2年女子）
- 何より努力が大事。（2年男子）
- 馬の異変を少しでも早く気付くこと、日々の観察が大事と分かった。（1年女子）
- 牛と馬に関わる仕事がしたいので、すごくためになった。実際のところ、もう遅いんじゃないかと思っていたから、今からでも牛や馬の仕事につけると知って、ますます興味が湧いてきた。もっと努力する！！（1年女子）
- 普段質問をしない僕ですが、優しくサポートしてもらい質問することができました。おもしろい話も交えて、ずっと楽しく聞けました。いろんな人生を歩んできたのだと思いました。怒られたら、まず謝る。（1年男子）
- たくさん挑戦して、たくさん失敗して、自分が目指す仕事に就けるよう、頑張る勇気をもらいました。ありがとうございました。やりたいことに挑戦していきます！！（1年女子）
- 将来はまだ決まっていかったのですが、今回の話を聞いて、最終的には調教師や厩務員なれたいなと思いました。（1年女子）
- 自分の夢は自分で決めて、その目標に向かって頑張りたいです。田辺騎手は、馬に乗るため、自分で出来るトレーニングをしていると聞いて、自分も実践したい（1年女子）